



各 位

2023年1月13日

会 社 名 株式会社 吉野家ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 河村 泰貴
(コード番号 9861 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役 小澤 典裕
(TEL 03-5651-8771)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年4月13日に公表しました2023年2月期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2023年2月期連結業績予想の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 168,000	百万円 3,400	百万円 5,400	百万円 3,500	円 銭 54.13
今回修正予想 (B)	168,000	3,400	7,000	4,300	66.49
増 減 額 (B—A)	-	-	1,600	800	
増 減 率 (%)	-	-	29.6	22.9	
(参考) 前期実績 (2022年2月期)	153,601	2,365	15,642	8,116	125.54

2. 修正の理由

2022年4月13日に公表した2023年2月期連結業績予想において、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金の収入を合理的に算出し業績予想に織り込んでいました。しかしながら、まん延防止等重点措置の延長により、当第3四半期累計期間において、当初見込みを上回る総額36億62百万円を営業外収益に計上しました。これにより経常利益は、当第3四半期累計期間において通期予想の54億円を上回り、59億41百万円となったため、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益の修正を行います。

また、牛肉などの原材料の高騰、光熱費などの上昇に加え、地政学上のリスク、為替の変動など先行きが不透明な状況が続いています。しかしながら、既存店の改装効果や継続したコスト最適化への取組みにより、当第3四半期累計期間における既存店売上高の前年比は吉野家106.8%、はなまる120.9%で推移しており、売上高は通期予想1,680億円（前期比109.4%）、営業利益は通期予想34億円（前期比143.8%）を達成する見込みです。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上